

NOTICIAS DE S. PAULO

(Primeiro Diario Nipponico Publicado no Brasil)

(1) N° 2052

Sabado 24 DE JANEIRO 1940

Bloqueado pela esquadra britanica o porto russo de Murmansk

Confirmada a noticia

COPENHAGUE, 24 (Unit. Press) — Agencia norte-americana) — Os ingleses iniciaram o bloqueio do porto de Murmansk, ao que se presume, com uma esquadra completa, segundo o despacho enviado pelo correspondente do "Berlingske Tidende".

OSLO, 24 (Reuter Agencia).

Prosseguirão as conversações nipo-americanas para tratar de novo pacto comercial

TOKIO, 24 (Transocean - Agencia alema) — O portavo do Ministerio do Exterior declarou que o sr. Ariata, projeta reatar suas con-

versações com o embaixador norte-americano, sr. J. Grew.

Acrescenta a mesma per-

sonalidade que devido aos

esforços da China, não se havia estipulado um programa definitivo.

O jornal "Miyako" escreve que a nova entrevista se distinguirá das outras pela razão de que o governo nipo-ame-

ricano não se esforçará por

esclarecer a atitude ameri-

cana em China.

O jornal frisa que a nova

ordem na China será reali-

zada independentemente do

tratado comercial nipo-ame-

ricano, sendo que em caso

necessário se fará sem élé.

◆◆◆

Bombardeado um quartel-general na China do sul

TOKIO, 24 (Transocean -

Agencia alema) — Apesar

da grande resistência chine-

za, aviões niponicos bombar-

dearam o quartel-general

das forças chinesas ao sul.

（東京廿四日同盟日本）戦

將校夫人會で奉賀

（東京廿四日同盟日本）戦

將校夫人會では豫て総

裁官として東久邇宮妃聴

子内親王殿下を奉賀すべ

く御説ひ申上げて更上

に御賀を以て了るが

東亜新秩序の建設に來り

妃賀下には廿四日御勅許

を仰げられ正式御承諾

の旨御賀致あらせられた

（東京廿四日同盟日本）戦

東久邇宮妃

（東京廿四日同盟日本）戦

將校夫人會で奉賀

（東京廿四日同盟日本）戦

將校夫人會では豫て総

裁官として東久邇宮妃聴

子内親王殿下を奉賀すべ

く御説ひ申上げて更上

に御賀を以て了るが

東亜新秩序の建設に來り

妃賀下には廿四日御勅許

を仰げられ正式御承諾

の旨御賀致あらせられた

（東京廿四日同盟日本）戦

東久邇宮妃

（東京廿四日同盟日本）戦

將校夫人會で奉賀

（東京廿四日同盟日本）戦

將校夫人會では豫て総

裁官として東久邇宮妃聴

子内親王殿下を奉賀すべ

く御説ひ申上げて更上

に御賀を以て了るが

東亜新秩序の建設に來り

妃賀下には廿四日御勅許

を仰げられ正式御承諾

の旨御賀致あらせられた

（東京廿四日同盟日本）戦

東久邇宮妃

（東京廿四日同盟日本）戦

將校夫人會で奉賀

（東京廿四日同盟日本）戦

將校夫人會では豫て総

裁官として東久邇宮妃聴

子内親王殿下を奉賀すべ

く御説ひ申上げて更上

に御賀を以て了るが

東亜新秩序の建設に來り

妃賀下には廿四日御勅許

を仰げられ正式御承諾

の旨御賀致あらせられた

（東京廿四日同盟日本）戦

東久邇宮妃

（東京廿四日同盟日本）戦

將校夫人會で奉賀

（東京廿四日同盟日本）戦

將校夫人會では豫て総

裁官として東久邇宮妃聴

子内親王殿下を奉賀すべ

く御説ひ申上げて更上

に御賀を以て了るが

東亜新秩序の建設に來り

妃賀下には廿四日御勅許

を仰げられ正式御承諾

の旨御賀致あらせられた

（東京廿四日同盟日本）戦

東久邇宮妃

（東京廿四日同盟日本）戦

將校夫人會で奉賀

（東京廿四日同盟日本）戦

將校夫人會では豫て総

裁官として東久邇宮妃聴

子内親王殿下を奉賀すべ

く御説ひ申上げて更上

に御賀を以て了るが

東亜新秩序の建設に來り

妃賀下には廿四日御勅許

を仰げられ正式御承諾

の旨御賀致あらせられた

（東京廿四日同盟日本）戦

東久邇宮妃

（東京廿四日同盟日本）戦

將校夫人會で奉賀

（東京廿四日同盟日本）戦

將校夫人會では豫て総

裁官として東久邇宮妃聴

子内親王殿下を奉賀すべ

く御説ひ申上げて更上

に御賀を以て了るが

東亜新秩序の建設に來り

妃賀下には廿四日御勅許

を仰げられ正式御承諾

の旨御賀致あらせられた

（東京廿四日同盟日本）戦

東久邇宮妃

（東京廿四日同盟日本）戦

將校夫人會で奉賀

（東京廿四日同盟日本）戦

將校夫人會では豫て総

裁官として東久邇宮妃聴

子内親王殿下を奉賀すべ

く御説ひ申上げて更上

に御賀を以て了るが

東亜新秩序の建設に來り

妃賀下には廿四日御勅許

を仰げられ正式御承諾

の旨御賀致あらせられた

（東京廿四日同盟日本）戦

東久邇宮妃

（東京廿四日同盟日本）戦

將校夫人會で奉賀

（東京廿四日同盟日本）戦

將校夫人會では豫て総

裁官として東久邇宮妃聴

子内親王殿下を奉賀すべ

く御説ひ申上げて更上

に御賀を以て了るが

東亜新秩序の建設に來り

妃賀下には廿四日御勅許

を仰げられ正式御承諾

の旨御賀致あらせられた

（東京廿四日同盟日本）戦

東久邇宮妃

（東京廿四日同盟日本）戦

將校夫人會で奉賀

（東京廿四日同盟日本）戦

將校夫人會では豫て総

裁官として東久邇宮妃聴

子内親王殿下を奉賀すべ

く御説ひ申上げて更上

に御賀を以て了るが

東亜新秩序の建設に來り

妃賀下には廿四日御勅許

を仰げられ正式御承諾

の旨御賀致あらせられた

（東京廿四日同盟日本）戦

東久邇宮妃

(三) 日四廿五月二十一年五

號二五五



母國ニユース

南極大陸へ探検隊

今年中に壯舉を決行

専門家部隊　舊隊員も參加

(大毎一月十日)　開南探検隊を認定する時は諸國の主張によれば豫算は九百廿五万圓で、それを認めざるを得ないとの理由で、内澤は船賃二百五十圓級の南極大陸の大雪原開拓に拒絕されたので、同會ではシタシツ山にわたり一萬一千英哩を換算して政府を鞭撻し、國會が開くと外務省は對してこれが正式認定を求むべく運動中であつた年の秋を以て本半中に執行するに至つた。回答は各國がそれぞれの占地を主張してゐる際とて、大綱を發表した、その大綱によると再び南極大陸探検隊遣はうと、再び南極大陸探検隊を設立、一千六百人を構成して政府を鞭撻し、國會が舊隊員から受取決し前年秋を以て本半中に執行するに至つた。

(大毎一月十日)　支那大陸について研究を進めていたがの報告があつて、その努力を評価されることは、開南探検隊幹事長多田惠二氏など十九名がバイオットとして再び南極大陸探検隊を設立、一千六百人を構成して政府を鞭撻し、國會が舊隊員から受取決し前年秋を以て本半中に執行するに至つた。

支那大陸探検隊後援會長故

上タンク二台、自動橋五台、水上タンク二台、船員乗用機二台、自動橋五台、水兵三百六十名の船員、補助および一等船附による

探検隊編成は三十名の船員、

軍艦旗二台、自動橋五台、

船員乗用機二台、自動橋五台、

水兵三百六十名の船員、

補助および一等船附による

探検隊編成は三十名の船員、

軍艦旗二台、自動橋五台、

船員乗用機二台、自動橋五台、

水兵三百六十名の船員、

補助

